

報道関係者各位

2012年10月30日  
テラ株式会社

**信州大学医学部附属病院が樹状細胞ワクチン療法を先進医療として実施する医療機関として承認**

テラ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎、以下「テラ」）の契約医療機関である信州大学医学部附属病院が、樹状細胞ワクチン療法<sup>※1</sup>（「樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法」）を先進医療<sup>※2</sup>として実施する医療機関として承認されましたので、お知らせいたします。

テラは、2008年に国立大学法人信州大学（以下「信州大学」）と共同研究契約を締結し、樹状細胞ワクチン療法の技術・ノウハウを提供してまいりました。信州大学医学部附属病院は、この技術・ノウハウ提供に基づき、樹状細胞ワクチン療法に関する臨床研究を実施してまいりましたが、この度、先進医療として乳がん、肺がん、膵臓がん、胃がん及び大腸がんを対象とした樹状細胞ワクチン療法を実施する施設として承認されました。

テラが技術・ノウハウを提供する契約医療機関は、2012年9月末現在、信州大学をはじめ全国23か所となっております。今後もテラは、当社の技術・ノウハウを活かした治療の普及を進め、また、契約医療機関等における先進医療への申請を支援することにより、より多くのがん患者のみなさまに貢献してまいります。

【参照：厚生労働省 ホームページ】

URL：<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kan.html>

【参照：信州大学医学部附属病院 ホームページ】

URL：<http://wwwhp.md.shinshu-u.ac.jp/>

---

**【※1】 樹状細胞ワクチン療法**

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの目印である物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球にがん細胞のみを狙って攻撃させる新しいがん免疫療法です。

## 【※2】先進医療

先進医療は、国民の安全性を確保し、患者負担の増大を防止するといった観点を踏まえつつ、国民の選択肢を広げ、利便性を向上するという観点から、安全性、有効性等を確保するために一定の施設基準を設定し、当該施設基準に該当する保険医療機関の届出により、または安全性、有効性等を確保するために対象となる医療技術ごとに実施医療機関の要件を設定し当該要件に適合する保険医療機関の承認により、保険診療との併用を認めています。

---

### 【信州大学医学部附属病院について】

- 名称 信州大学医学部附属病院
- 住所 長野県松本市旭3丁目1番1号
- 創立 1944年
- 代表者 病院長 天野 直二

### 【テラ株式会社について】

- 社名 テラ株式会社 [英名]tella, Inc. [証券コード]大阪証券取引所JASDAQ 2191
- 住所 東京都千代田区麹町四丁目7番地2 サンライン第7ビル7階
- 電話 (代表)03-6272-6477
- 設立 2004年6月
- 資本金 593百万円(2012年6月末)
- 代表者 代表取締役社長 矢崎 雄一郎
- 従業員数 44名(2012年3月末)
- 事業内容 樹状細胞ワクチン療法の研究開発、樹状細胞ワクチン療法等の技術・ノウハウの提供、再生医療の研究開発

### 【本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

テラ株式会社 経営戦略室 山口 TEL : 03-6272-6477